1SEG TV

8インチ液晶ワンセグテレビ + デジタルフォトフレーム

DS-ITV800BK/SV

取扱説明書

本製品の使用にあたり、ご注意頂きたい事項

テレビを観る前に、必ずオートサーチを行ってください

本製品をはじめてお使いになる場合、オートサーチ（受信チャンネルの読み込み）が必要です。オートサーチを行うことで、はじめてテレビ放送を受信することができます。

本体への写真保存

本製品の独自規格でリサイズ後に保存されます。また、仕様表に記載のある保存枚数は元のデータサイズにもよりますので、目安としてください。

内蔵バッテリー

本製品は内蔵バッテリーを搭載しています。長時間コンセントにつないだままにしておくとバッテリーへの過度な電源供給が行われ、大変危険です。未使用時や充電完了後は電源の接続を解除し、電源スイッチをオフにしてください。

目次

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら､弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- テレビ本体
- リモコン
- 専用アンテナ
- 専用スタンド 2 種
- F 型アンテナ変換ケーブル
- AV ケーブル
- 電源アダプタ
- イヤホン
- 取扱説明書
- クイックガイド
- 保証書

ご使用上の注意

- ご自身で修理したり、分解したりしないでください。液晶内の部品に高電圧の物もあり大変危険です。また、強い力をかけたり重い物を置いたりしないでください。破損する場合があります。
- 風呂場や台所等、水気のかかる場所や湿度の高い場所で使用しないでください。また、濡れた手で触れないでください。水気によるショートや、感電のおそれがあります。
- 本書に従い、正しく配線を行ってください。正規の配線が行われないと故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
- お手入れをする場合は必ず電源を切り、電源ケーブルを外してください。乾いた柔らかい布で手入れを行い､アルコール、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動した時、内部で結露を生じる場合があります。その場合は 1、 2 時間そのままの状態で放置してください。
- 不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光にあたる場所に置き去りにしないでください。また、車内への置き去りもご遠慮ください。
- 液晶画面は精密部品です。稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これらは故障ではありません。

メディアの挿入､電源接続時の注意

- 挿入が可能なメディアは SD もしくは MMC、USB メモリです。これ以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。
- メディアやケーブルを接続する場合は、接触端子部の向きを確認した上で挿入してください。間違った向きやズレた位置で無理矢理挿入した場合は接触端子部が破損したり、挿入メディアが取り外せなくなったりします。
- データ損失につながりますので、再生中はメディアやケーブル類を取り外さないでください。
- 本製品は付属の USB ケーブルを介して USB 端子をご利用いただけますが、ストレージ以外の製品（通信用装置等）を接続して使用することはできません。また、ストレージであっても USB からの電力で駆動する機器は消費電力が大きすぎて使用できない場合等があり、全ての接続機器の動作を保証することはできません。
- ワンセグテレビ／デジタルフォトフレーム本体を移動する場合は必ず電源をオフにしてからケーブル配線、接続メディアを取り外した後に行なってください。通電及びメディア接続状態で衝撃を与えた場合、本体の不具合を招くだけでなく記録データの損失にもつながります。
- 万が一故障や不具合が発生し、接続メディアのデータ損失や機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本体メモリは一部システム領域として使用されるため、全てをデータ保存にあてることはできません。また、本体メモリに入れるデータは機器故障等による損失に備え、事前に必ずバックアップをとってお使いください。
- 大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

再生可能なファイル

- 再生についてはファイルの保存方法、作成状況によっては読み込めないものもあります。接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません。また、大容量メディアや大きいサイズのデータは読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。
  ［再生可能なファイル］
  写真：.jpg / .jpeg､音楽：.mp3､映像：.mpg /.avi /.mp4（映像コーデック：mpeg1 /mpeg /mpeg4、音声コーデック：mp2 /mp3）
  ［補足］ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されていると、正しく表示ができません。また、挿入メディアに不可視ファイルがあると思わぬ動作につながる場合がありますので、事前にパソコンで削除してお使いください。

電源供給に関する注意

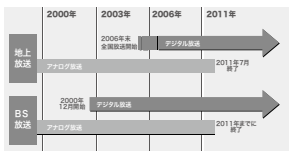
- 付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、電源アダプタの電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているか

を確認してください（AC100V）。
・電源アダプタは十分注意し、適切に配線してください。特に電源ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり故障の原因となります。配線が切れかかったケーブルは使用しないでください。ショートによる火災の原因になります。

あらかじめご了承頂きたいこと

・本書の内容、本製品の仕様・外観等は将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください（お問い合わせ先は付属の保証書をご覧ください）。
・本書の一部または全部を無断で複製することを禁止いたします。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、当社に無断での使用はできません。
・本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして弊社では一切その責任を負えません。
・接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
・地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
・故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして弊社では一切の責任を負えません。
・保証書への購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等は、弊社では一切の責任を負えません。
・本製品は一般家庭での使用を目的に製造されています。特に業務用（店舗展示用や長時間連続使用等）に使用された場合や、一般家庭内でも過度に長時間連続で使用された場合は保証期間内であっても弊社保証の対象外となります。
・本製品は日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、2011 年 7 月に岩手・宮城・福島を除き完全移行しました。
BS アナログ放送は 2011 年 7 月に終了し、地上アナログ放送は一部地域を除き終了しています。アナログ放送は残りの地域でも 2012 年 3 月までに終了することが決定されています。

ワンセグ放送について

ワンセグとは日本国内で主に携帯電話等の移動体端末やその他機器を対象とする地上デジタル放送です。従来のアナログ放送と比較して移動中でも安定して受信できる工夫がなされています。

ワンセグは地上デジタル放送の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けて送信する日本独自の規格によって実現したサービスで、13 のセグメントの真ん中の 1 セグメントを使用して映像、音声データが得られます。

ワンセグの番組内容は基本的に従来のテレビ番組と同じ内容です（チャンネル番号はアナログ放送とは異なります）。その為、普段見慣れた番組を外出先で楽しむことが可能です。

本製品は、双方向データ通信およびワンセグ 2 サービス等には対応しておりません。

ワンセグ視聴中に起こる、以下のような症状は故障ではありません

■ワンセグ放送を含む地上デジタル放送は、実際の時刻とのタイムラグが発生します

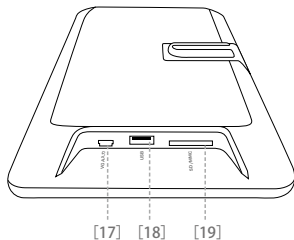
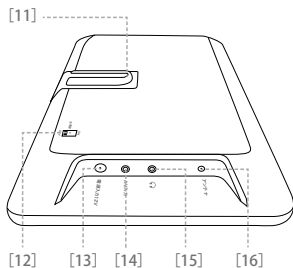
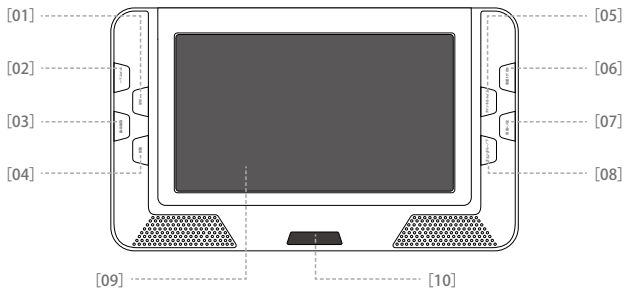
正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

■移動中の視聴は、電波状況が刻々と変化しています

電波が弱い場所に入ると急に音声・映像の乱れ、画像の静止、黒い画面になることがあります。アナログ放送のように乱れた画像だがかろうじて視聴できる、というような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。

■移動中の視聴では、放送エリアが変わります

地上デジタル放送の電波は、地域によってチャンネル割り当てが異なります。その為、放送エリアが変わると急に視聴ができなくなることがあります。放送エリアが変わった場合は、再度「オートサーチ」を行ってください。

1. 各部名称

［01. 決定ボタン］
設定画面等で選択した項目を確定する時に使用します。

［02. メニューボタン］
各種設定を行うメニュー画面を表示します。

［03. 機能切替］
押す毎に TV / DPF / VGA / AV の本体機能を切り換えます。

［04. 電源ボタン］
電源のオン／オフを切り替えます。

［05. チャンネル＋／上］
TV チャンネルの切替、選択項目の上方向への移動に使用します。

［06. 音量＋／右］
音量の調節（長押し）、メディア選択画面内の選択項目や、再生中に前後のファイルの右方向への移動に使用します。

［07. 音量ー／左］
音量の調節（長押し）、メディア選択画面内の選択項目や、再生中に前後のファイルの左方向への移動に使用します。

［08. チャンネルー／下］
TV チャンネルの切替、選択項目の下方向への移動に使用します。

［09. 液晶画面］
出荷時は液晶画面の表面に保護用フィルムが貼り付けてあります。通常は剥がしてお使いください。

［10. リモコン受光部／電源ランプ］
リモコン操作はこちらに向けて行います。また、充電時は赤、主電源スイッチがオンになっている時は緑に点灯します。

［11. スタンド差し込み口］
付属のスタンドを溝に沿って接続します。

［12. 主電源スイッチ］
主電源のオンとオフを切り替えます。

［13. 電源入力］
電源アダプタを接続します。

［14.AV 入力］
外部機器を接続します。

［15. イヤホン出力］
イヤホンを接続します。

［16. アンテナ入力］
アンテナを接続します。

［17.VGA 入力］
VGA ケーブルを接続します。

［18.USB スロット］
USB メモリを接続します。

［18.SD/MMC スロット］
SD もしくは MMC を挿入します。

補足：一部操作は本体ボタンでも可能ですが、通常はリモコンで操作をしてください。

[01] [02] [03] [04] [05] [06] [07] [08] [09] [10] [11] [12] [13] [14] [15] [16] [17] [18] [19]

電源 メニュー 機能切替 消音

番組リスト オート 表示 セットアップ

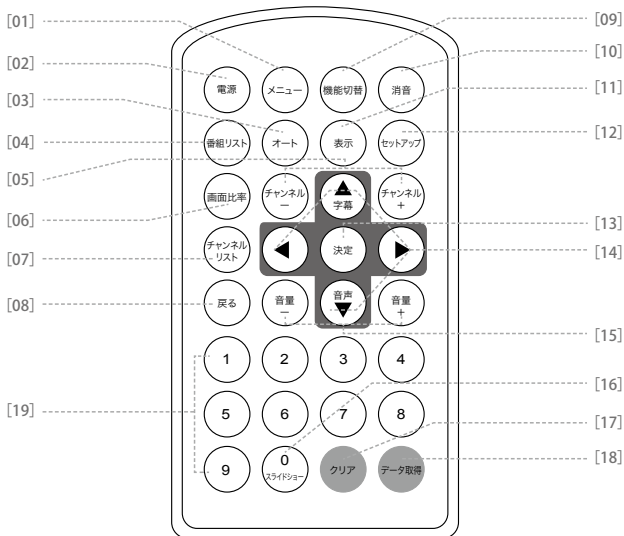
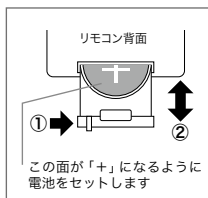
画面比率 チャンネル − 字幕 チャンネル ＋

チャンネルリスト 決定

戻る 音量 − 音声 音量 ＋

1 2 3 4

5 6 7 8

9 0 スライドショー クリア データ取得

リモコン用電池の装着、交換

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は「+」と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

［01. メニュー］
メニュー画面を表示します。

［02. 電源］
電源のオンとオフを切り替えます。

［03. オート］
チャンネルのオートサーチ (チャンネル読み込み) を行ないます。

［04. 番組リスト］
視聴中のチャンネルの番組表を表示します。

［05. チャンネル +/ −］
チャンネルを切り替えます。

［06. 画面比率］
画面の比率を切り替えます。

［07. チャンネルリスト］
現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。

［08. 戻る］
再生中の動作停止や、前の画面に戻る時に使用します（DPF モード時）。

［09. 機能切替］
押す毎に TV / DPF / VGA / AV の本体機能を切り換えます。

［10. 消音］
音声を一時的に消します。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

［11. 表示］
現在のチャンネルの情報、電波状態を表示します。

［12. セットアップ］
各種設定を行うセットアップ画面を開きます（DPF モード）。

［13. 決定］
主にセットアップ画面等で、選択した項目の確定に使用します。

［14. 方向］
主にセットアップ画面等で使用し、選択項目を上下左右に移動させます。

［15. 音量 +/ −］
音量を調節します。

［16. スライドショー］
DPF モードの時にスライドショー再生を行います。挿入メディア、本体内蔵メモリのどちらにも写真データがない時は機能しません。

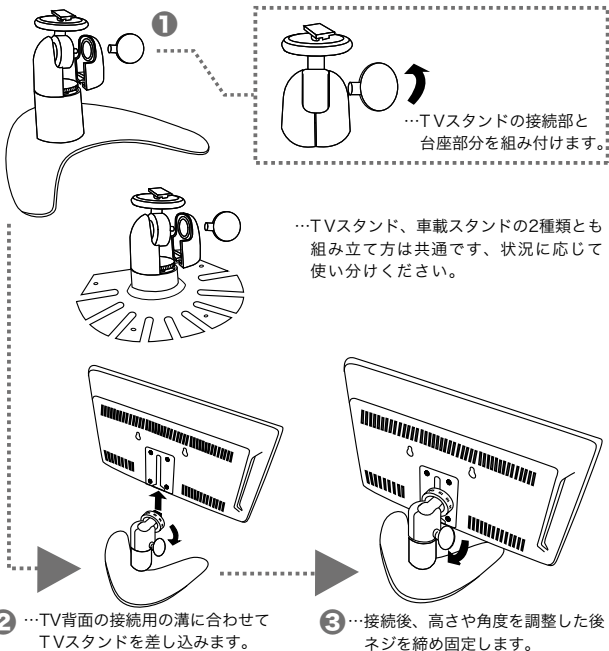
［17. クリア］
チャンネル設定を全て無効にします。

［18. データ取得］
視聴中の番組内容のデータを取得して表示します。

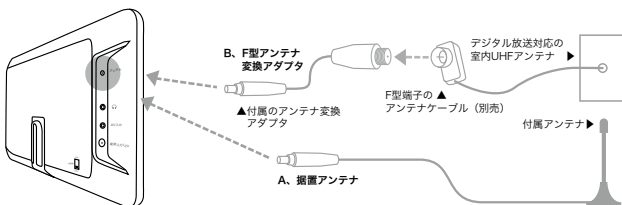
［19. 数字］
チャンネル番号指定を行います。

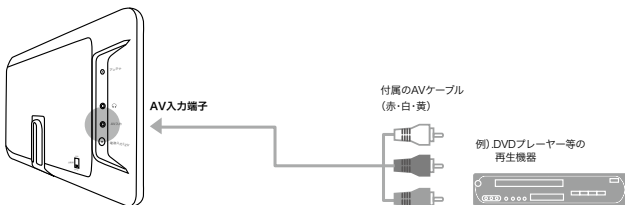
2. 接続

専用テレビスタンドの設置

本製品には視聴時に便利な、専用テレビスタンドが 2 種類付属します。次の手順で組み立ててください。

［補足］固定用の締め付けネジはプラスチック製です。きつく締めすぎると破損してしまいます。

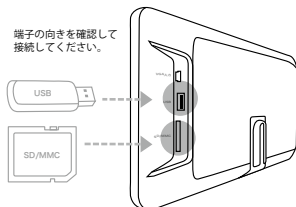
2-1. アンテナとの接続

テレビ機能を使用する場合は本体側面のアンテナ入力に付属の据置アンテナを接続してください。アンテナは受信状態の良い窓際等に設置してください。
ご自宅にデジタル放送に対応した UHF アンテナがあれば付属の F 型アンテナ変換アダプタを介して接続します。テレビを見るには接続後、オートサーチが必要です（P16 参照）。

2-2. 外部機器との接続

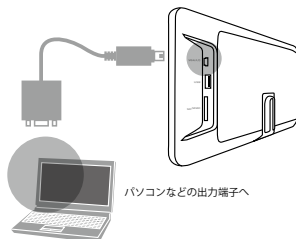
［AV 機器と接続する］
ビデオデッキ等を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品搭載の液晶モニタに映し出す場合の接続です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 入力」と接続機器の対応する出力端子を接続します。

［補足］
外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AV モード」に切り替える必要があります。

2-2. メディアの挿入

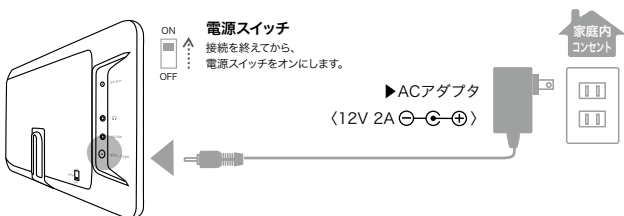
［USB メモリの挿入］
付属の USB ケーブルを介して接続します。
端子の向きに注意して挿入してください。

［SD/MMC の挿入］
フォトフレーム本体を背面から見た時にメディアのラベル面が手前を向くようにしてSD もしくは MMC を挿入してください。

［補足］
- 再生するものを一つだけ挿入します。複数のメディアを挿入すると動作が鈍くなったり、誤作動を起こしたりします。
- メディアを挿入する時は端子の向きを確認した上で挿入してください。異なる向きや位置で無理矢理挿入すると端子部が破損したり、挿入メディアが外せなくなったりします。
- 大容量メディアの挿入時や大きいサイズのファイルの再生時は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

2-3.VGA 入力端子を使った外部機器接続

パソコン等、VGA 出力端子（miniUSB）のある機器との接続です。接続ケーブルを別途ご用意頂き、下図を参考に接続してください。
接続後に入力切替ボタンを押して本テレビを VGA モードに切り替えてください。

［VGA 入力時の注意］
PC の外部ディスプレイ出力サイズを 1024 × 768 ピクセルを超えて設定すると映像を正しく受け取ることができません。また、VGA 接続時にテレビ本体から音声は出力されません。

2-4. 電源の接続

［電源アダプタからの電源供給］
本体側面の電源入力に、付属の AC アダプタを接続し、壁のコンセントに差し込みます。
全ての接続が完了したら、側面の電源スイッチをオンにしてください。

> ［補足］
> 未使用時や長時間使用しない時は、電源スイッチをオフにし、本体から電源アダプタを取り外してください。長時間つないだままにしておくと過剰な充電が行われ、内蔵バッテリーに負担をかけますのでご注意ください。

［内蔵バッテリーの充電］
充電時は側面の電源スイッチをオフにしてください。
本体側面の電源入力に付属の AC アダプタを接続し、壁のコンセントに差し込みます。
本体正面の電源ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。ランプが消灯すると充電完了です。
充電完了後、テレビ本体から電源アダプタを取り外してください。

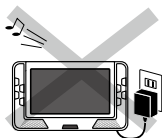
充電所要時間：約 180 分
連続使用時間：約 120 分

> ［補足］
> 充電・再生時間は使用状況によって上記時間とは差が出ます。記載の時間はあくまでも目安です。
> 充電完了後、コンセントにつないだままにしておくと過度な電源供給が行われ、大変危険です。充電ランプが消灯したら、速やかに電源アダプタの接続を解除してください。

[内蔵バッテリー取扱上の注意]

・ バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。
・ お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、お買い上げ直後だけでなく、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている時は電源アダプタにつないでも途中で電源が落ちてしまったり、動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。
・ 使用中にバッテリーが異常に熱を持ったり、膨張したり、液漏れしたり、異臭や煙などを発した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は以後絶対に使用しないでください。
・ 過充電を行うと、バッテリーの故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合があります。充電後や未使用時は、必ず電源アダプタを取り外してください。
・バッテリーは消耗品です。使用を繰り返す毎に再生可能な時間は徐々に短くなります。
・ 保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所や湿度の高い場所での使用や保管をしないでください。保管に際しては本体から電源アダプタを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。
・ バッテリーを含む本製品の廃棄はお住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

[誤った使い方の事例]

用法を誤るとバッテリーの発熱・破裂等を生じ、故障や事故につながる可能性もあり大変危険です。こちらに示すような使い方は絶対にしないでください。

充電完了後、電源アダプタを差したまま使用すると過度な電源供給が行なわれ、大変危険です。

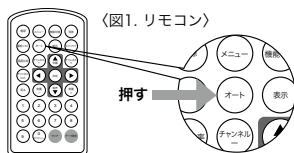
バッテリーの過度な充電は危険です。コンセントに差しっ放しで外出したりしないでください。

バッテリーを含む本体を過酷な環境に置き去りにしないでください。

3. テレビを観る

3-1. 電源を入れる

〈図1. リモコン〉

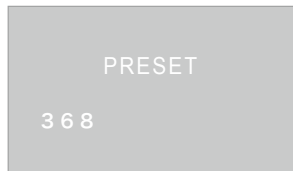
前章でご紹介したアンテナと電源の接続が完了後に本体背面の電源スイッチをオンにすると液晶画面が立ち上がります。

3-2.TV モードに切り替える

本体、またはリモコンの「機能切替ボタン」を押して機能モードを「TV」に切り替えてください。

3-3. オートサーチ

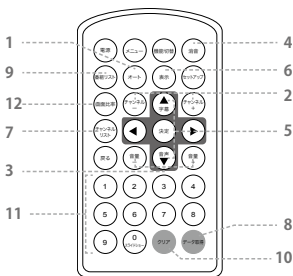
リモコンの「オートボタン」を押します（図1）。画面に PRESET と表示され、オートサーチが実行されます。終了までしばらくお待ちください。
オートサーチ後、チャンネルを切り替えて受信内容を確認してください。

PRESET

368

〈図2. オートサーチ実行画面〉

チャンネルは受信した順番に表示され、オートサーチ完了後に数字の小さい順に自動的に並び変わります。

［補足］
視聴可能なチャンネルは、オートサーチで登録されたチャンネルに限られます。希望のチャンネルが登録できない場合は、視聴地域での受信放送局を確認後、アンテナ設置場所や向きを調整して再度オートサーチをしてください。

3-4. テレビ視聴時の各種操作

1：オートサーチ

リモコンのオートボタンを押すと、受信放送局を読み込ませるオートサーチが行われます。
オートサーチはこの他に、メニュー画面内の操作でも行えます。

2：チャンネル切替

リモコンの「チャンネル＋／－ボタン」を押すとチャンネルが切り替わります。
または、リモコンの「数字ボタン」でチャンネル番号指定が行えます。

3：音量調節

リモコンの「音量＋／－ボタン」を押すと、音量の大小を調節することができます。

4：消音

「消音ボタン」を押す毎に消音と出音が切り替わります。

［補足］上記の消音状態の時や本体にイヤホンが接続されている時は本体スピーカーから音声は出力されません。

5：字幕・音声切替

字幕放送に対応した番組を受信中にリモコンの「字幕ボタン」を押すと、字幕の有無及び種類が切り替わります。
音声多重放送に対応した番組を視聴中にリモコンの「音声ボタン」を押すと、音声の種類が切り替わります。

6：表示

画面上に現在表示させている放送局の番組や、字幕・音声の設定状態等の情報を表示させます。

7：チャンネルリスト

現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。

チャンネルリスト

1	○○○総合
2	○○○教育
3	○○神奈川
4	○○テレビ
5	○○テレビ
6	○○放送
7	○○放送

8：データ取得

現在視聴中の番組の情報が表示されます。表示される番組数は、放送局によって異なります。表示される番組情報が多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。チャンネルボタンで画面が切り替わります。番組情報はワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

9：番組リスト

現在受信中の放送局の番組一覧が表示されます。表示される番組数は、放送局によって異なります。表示される番組リストが多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。

チャンネルボタンで画面が切り替わります。

番組リスト　12月17日（月）
4　○○テレビ

21：00-21：30	ニュース番組　今夜の出来事
21：30-22：00	週間占い　WEEKLY TAROT
21：00-22：30	天気予報　WEATHER×2

［補足］
上記の 7・8・9 は、ワンセグ放送受信中に限り操作が可能です。また、これらの操作は放送波に乗せて必要な情報データをダウンロードします。データ取得には多少時間がかかります。また、電波状態の悪い場所ではデータをダウンロードできません。

10：クリア

オートサーチで登録されたチャンネルを削除します。再びテレビ放送をご覧になる場合は、オートサーチを行ってください。

11：数字

番号に合わせてチャンネルが切り替わります。

12：画面比率

画面を上下縮小し、下部に黒い帯を表示させます。これにより字幕が見やすくなります。もう一度ボタンを押すと、全画面表示に戻ります。

4. 写真を観る

4-1. メディアの挿入

2 章の各種接続のページをご覧頂き、SD、MMC もしくは USB メモリを挿入してください。

4-2. 電源を入れる

本体背面の電源スイッチをオンにすると液晶画面が立ち上がります。

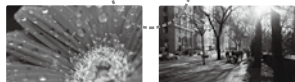
4-3.DPF モードに切り替える

本体、もしくはリモコンの「機能切替ボタン」を押して機能モードを「DPF」に切り替えてください。

4-4. 自動スライドショー再生

起動時に挿入メディア内もしくは本体メモリに JPEG ファイルを確認すると、ファイルが順に切り替わるスライドショー再生が自動的に始まります。スライドショー再生中の主な操作は次のようになります。

［戻るボタン］：スライドショー再生の停止
［決定ボタン］：スライドショーの一時停止と再開

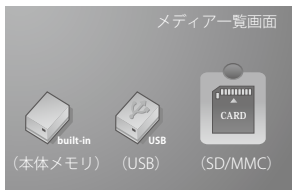
［補足］メディア挿入時や内蔵メモリに写真ファイルがあると起動直後、自動的にスライドショー再生が始まり、映像ファイルがある場合は映像ファイルが優先されて再生されます。
次ページからは一般的な通常再生の操作をご紹介します。続けてご確認ください。

4-5. 通常再生までの流れ

通常再生の操作をご紹介します。操作に慣れて頂くために一旦スライドショーを止めてください。

操作 1：スライドショーを止める
スライドショー再生中に「戻るボタン」を 3 回押すとスライドショー再生が止まり「メディア一覧画面」が表示されます。

↓

操作 2：メディアを選択する
「方向ボタン」を使って再生させるメディアを選択後に「決定ボタン」します。

［補足］未挿入、または未認識のメディアは選択できません。メディアを挿入しているが選択できないという時は挿入の見直し後、再起動させてください。

操作 3：操作を選択する
写真を再生する場合はリモコンの「方向ボタン」で画像アイコンを選択後「決定ボタン」を押して確定すると、ファイル一覧画面に移動します。

［補足］内蔵メモリには写真データしかコピーできません。このため、操作 2 のメディア選択で内蔵メモリ（built-in）を選択した時は「映像」および「音声」アイコンは表示されません。

操作 4：再生するファイルを選択する

「方向ボタン」で選択後「決定ボタン」を押して確定すると、選択した写真が一画面に表示・再生されます。

5. 各種操作と設定

5-1. 写真の再生

［起動時の動き］
リモコンの「電源ボタン」を押す毎に電源のオン／オフが切り替わります。起動時に再生可能な写真（音楽）データがある時は自動的にスライドショーが始まります。詳細はスライドショー再生ページをご覧ください。

［通常再生］
メディア選択画面から読み込むメディアを選択して「決定ボタン」を押します。
表示される操作選択画面から「画像」を選んで「決定ボタン」を押します。
ファイル一覧画面が表示されるので、再生させたい写真を選んで「決定ボタン」を押すと写真が一画面表示になります。

［通常再生とスライドショー再生］
再生中に「決定ボタン」を押す毎に通常再生とスライドショー再生が切り替わります。この時のスライドショー再生に限り音楽は再生されません。

［停止する］
再生中に「戻るボタン」を押すと再生が止まってファイル一覧画面に戻ります。

［前／後のファイルを表示する］
再生中にリモコンの「左右方向ボタン」を押すと現在表示しているファイルの前もしくは次のファイルが表示されます。

［回転する］
再生中にリモコンの「上下方向ボタン」を押す毎に 90°ずつ回転します。

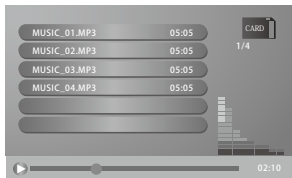
［拡大する］
再生中にリモコンの「画面比率ボタン」を押すと、画像が拡大して表示されます。ボタンを押す毎に表示倍率が切り替わります。拡大中に「方向ボタン」を押すと、画面の表示領域を移動させることができます。

拡大中に方向ボタンを押し、
表示領域を移動することができます。

5-2. 音楽の再生

［起動時の動き］
リモコンの「電源ボタン」を押す毎に電源のオン／オフが切り替わります。起動時に再生可能な音楽・写真データがあると、スライドショー再生が始まります。

［通常再生］
メディア選択画面から読み込むメディアを選択して「決定ボタン」を押します。
表示される操作選択画面から「音声」を選んで「決定ボタン」を押します。
ファイル一覧画面が表示されるので、再生させたいファイルを選んで「決定ボタン」を押すと音楽が再生されます。

［音量調節］
リモコンの「音量 +/- ボタン」で音量を調節します。「消音ボタン」を押すと一時的に音量がゼロになります。再度ボタンを押すと消音が解除されます。

［停止］
再生中に「決定ボタン」を押すと一時停止します。「戻るボタン」を押すと再生が止まり、操作選択画面に戻ります。

［前／次のファイルを再生させる］
再生中にリモコンの「上下方向ボタン」を押すと前／次のファイルを再生します。

［補足］音楽再生中の早送り／巻き戻し操作はできません。

5-3. スライドショー再生

［起動時の動き］
起動時に以下のような状態の時は自動的に写真が切り替わり、同時に音楽が再生されるスライドショー再生が始まります。

- 写真や音楽データの入ったメディアが挿入されている時。
- 内蔵メモリにコピーした写真データが入っている時。

［スライドショー再生中の操作］

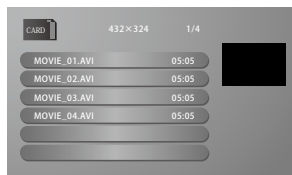
- 音量調節：「音量 +/- ボタン」及び「消音ボタン」で操作します。
- 一時停止：「決定ボタン」を押す毎にスライドショーの一時停止と再開が切り替わります。
- 選曲：「左右方向ボタン」を押して再生曲を切り替えます。（本体ボタンに限り、左右方向ボタンを長押しすると音量調節として機能します）。

［通常操作］
メディア選択画面から読み込むメディアを選択して「決定ボタン」を押します。表示される操作選択画面から「スライドショー」を選んで「決定ボタン」を押します。複数の写真が順に切り替わり、音楽データがある場合には同時に音楽再生が行われるスライドショー再生が始まります。

［補足］
- 本機のスライドショー再生は写真と音楽が同時に再生されます。写真だけ再生させたい場合は写真データだけを入れたメディアを挿入してください。
- メディアの優先順位…起動後はメディア未挿入時は内蔵メモリのデータが再生されます。メディア挿入時は挿入メディア内のデータが再生されます。
- データの優先順位…起動時、優先されたメディア内に写真データと映像データが混在している場合は映像データを優先して再生します。

5-4. 映像の再生

［通常操作］
メディア選択画面から読み込むメディアを選択して「決定ボタン」を押します。表示される操作選択画面から「映像」を選んで「決定ボタン」を押します。
映像ファイル一覧画面が表示されます。「上下方向ボタン」で再生ファイルを選択後、「決定ボタン」を押すと映像が再生されます。

［映像再生中の操作］
- 音量：「音量 +/- ボタン」で音量調節、「消音ボタン」で前後ファイルへ移動します。
- 経過時間の表示：「セットアップボタン」を押す毎に経過時間の表示／非表示が切り替わります。
- 早送り／巻き戻し：「セットアップボタン」を押して経過時間を表示中に「左右方向ボタン」を押すと早送り／巻き戻しが行われます行われます。「左右方向ボタン」を押す毎に速度が変化します。「決定ボタン」を押したところで止まります。
- 一時停止と停止：再生中に「決定ボタン」を押すと一時停止、もう一度押すと再開します。「戻るボタン」を押すと映像ファイル一覧画面に戻ります。

5-5. 時計・カレンダー

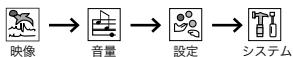
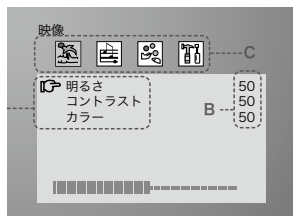
時計とカレンダーを表示させます。
メディア選択画面から読み込むメディアを選択して「決定ボタン」を押します。表示される操作選択画面から「カレンダー」を選んで「決定ボタン」を押すと時計・カレンダー画面が表示されます。「方向ボタン」でカレンダー表示を前後日付に移動させることができます。

［現在日時の設定］
時計・カレンダー機能を使用するには、事前に現在日時の設定が必要です。設定は「セットアップボタン」を押して表示される「セットアップ画面＞日付／時刻」から行ってください。

［カレンダー画面の補足］
カレンダー画面の左半分には写真がスライドショー再生されます。こちらには選択したメディア内の写真が切り替わり表示されます。データがない場合はデフォルトで入っている花の写真が表示され続けます。

6. メニュー画面

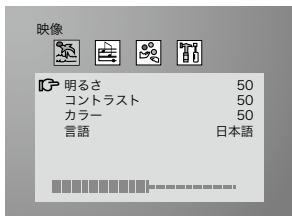
6-1. メニュー画面の紹介

付属のリモコン、または本体の「メニューボタン」を押すと、各種設定が行なえるメニュー画面が開きます。メニューボタンを押すたびに、映像→音量→設定→システムの順にメニュー画面が切り替わります（下図 C 部）。

メニュー画面に表示されている項目のうち、指のマークが先頭にあり、赤い文字で表示されているものは現在選択中の項目です。

- 「上下方向ボタン」を押すと、選択項目が上下に移動します（上図 A）。
- 「左右方向ボタン」を押すと、選択されている項目の設定を変更できます（上図 B）。
- 「システム」メニューを開いているときにメニューボタンを押す、または一定時間操作がなかった場合、メニュー画面が閉じられます（上図 C）。

6-2. 映像

リモコンまたは本体の「メニューボタン」を 1 回押すと、映像メニューが開きます。

映像メニューでは表示映像の明るさ、コントラスト、カラーの調節と、言語の選択が行えます。

- 言語：メニュー画面で表示される言語を変更します。選択できる言語は日本語／ENGLISH です。

［補足］
本説明書では「日本語」を選択した場合について説明します。他言語版の説明書はございません。

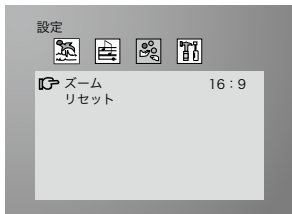
6-3. 音量

リモコンまたは本体の「メニューボタン」を 2 回押すと、音量メニューが開きます。

左右方向ボタンを使用し、音量を調節できます。0 の時は音声が出ません。

6-4. 設定

リモコンまたは本体の「メニューボタン」を 3 回押すと、設定メニューが開きます。

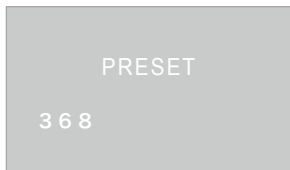
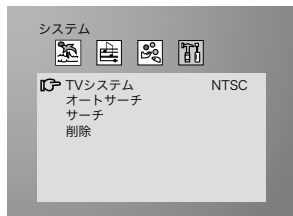
- ズーム：映像の縦横比率を変更します。
- リセット：メニュー画面内の設定を出荷時の状態に戻します。

6-5. システム

リモコンまたは本体の「メニューボタン」を4回押すとシステムメニューが開きます。

・ TV システム：本製品では NTSC 固定となります。

・ オートサーチ：現在受信可能な全てのチャンネルを探します。オートサーチを選択後に「左右方向ボタン」を押すと。オートサーチが実行されます。チャンネルが受信した順番に表示され、サーチ完了後に数字の小さい順番に並び変わります。

PRESET

368

［補足］
リモコンのオートボタンを押しても同様に機能します。この操作は TV モード以外では選択できません。

・ サーチ：現在選局中のチャンネルに隣接した受信可能なチャンネルを探します。サーチを選択し、「左右方向ボタン」でサーチを実行します。
左方向ボタンでマイナス方向、右方向ボタンでプラス方向のチャンネルを探します。

［補足］
この操作は TV モード以外では選択できません。

・ 削除：オートサーチで見つけたチャンネルを全て削除します。削除を選択後、左右方向ボタンを押すと実行されます。
TV を受信するときは、再度オートサーチを実行してください。

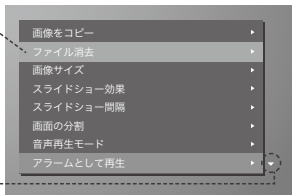
［補足］
この操作は TV モード以外では選択できません。

7. セットアップ画面

7-1. セットアップ画面の紹介 （DPF モード起動時に有効です）

付属のリモコンの「セットアップボタン」を押す毎に、各種設定が可能なセットアップ画面の表示／非表示が切り替わります。画面内の表示内容と基本的な操作方法は以下の通りです。

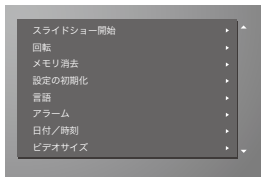
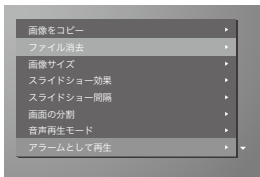
［選択中の項目］
現在選択されている項目はイエローの帯で表示されます。「上下方向ボタン」で項目を選択します。

［別ページへ移動］
設定可能な項目が別ページにも存在していることを示しています。「上下方向ボタン」で項目を移動すると、1 ページで表示しきれなかった項目が現れます。

フォトフレームセットアップ画面

［セットアップ画面内の色分け］セットアップ画面内には特定の条件下でしか操作できない項目もあります。例えば写真再生中でないと操作のできないものや、ファイル一覧画面上でだけ機能するもの等です。現状操作の可否は次のように色分して表示されます。

- イエローの帯　：現在選択している項目
- 背景がグリーン　：現在操作が可能な項目
- 背景がグレー　：現在は操作できない項目

7-2. 各種操作と設定

セットアップ画面では以下項目の操作と設定が可能です。

［画像をコピー］

挿入メディア内のデータをフォトフレームの内蔵メモリにコピーして保存します。写真を一画面表示し、再生中に「セットアップボタン」を押した後「画像をコピー」を選択して「決定ボタン」を押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択後に「決定ボタン」を押すとコピーが始まります。

［補足］内蔵メモリの中の保存データを本機に挿入したメディアに書き出すことはできません。

［ファイル消去］

挿入したメディアや本体内蔵メモリにあるファイルを消去します。写真、音楽、映像データ共に各々のデータ一覧画面で操作が可能です。再生中であれば一旦再生を止めてください。セットアップ画面から「ファイル消去」を選択後、「決定ボタン」を押します。確認画面が表示されるので「はい」を選択後「決定ボタン」を押すとデータ一覧画面内の選択中のファイルが消去されます。また、複数データを一度に消去する場合はデータ一覧画面で「画面比率ボタン」を押してデータを選択後にセットアップ画面の「選択項目を消去」から操作をしてください。

［画像サイズ］

写真の画面枠内への表示方法を設定します。セットアップ画面から「画像サイズ」を選択後「決定ボタン」を押すと選択画面が表示されます。仕様を選択後「決定ボタン」を押すと設定が切り替わります。

（画面にフィット）：写真の元の比率を保ち、画面枠内最大サイズで表示させせます。

（最適化）：写真の元の比率を保ち、画面枠内最大サイズで表示させせます。画面比率に適合しない写真は断ち切られて表示されます。

［補足］写真の縦横比率は保たれますが、元画像の比率によっては全てが表示できずに断ち切れたり黒い帯が表示されたりします。また、設定を変更してもデータによって意図した通りに表示できない場合もあります。再生中に設定を切り替えた場合は、次の画像が表示された後に設定が反映されます。

［スライドショー効果］

スライドショー再生時の写真の切り替わり方を設定します。セットアップ画面から「スライドショー効果」を選択後、「決定ボタン」を押すと効果選択画面が表示されます。「上下方向ボタン」で任意に選択後、「決定ボタン」を押すと設定が切り替わります。

［スライドショー間隔］

スライドショー再生時の切り替わり間隔を設定します。セットアップ画面から「スライドショー間隔」を選択した後「決定ボタン」を押すと間隔設定画面が表示されます。1 ～ 59 秒／ 1 ～ 59 分／ 1・2・3 時間の中からスライドショーの間隔を指定するこ

とができます。「方向ボタン」で時間を設定後、「決定ボタン」を押すと確定されます。

［補足］間隔は目安です。特に大きいデータ再生時は展開に時間がかかり指定通りの間隔では切り替わりません。

［画面の分割］

スライドショー再生時に複数の写真を表示させることができます。セットアップ画面から「画面の分割」を選択後、「決定ボタン」を押すと設定画面が表示されます。
（オン）：スライドショー再生時に画面が分割され、複数の写真が表示されます。
（オフ）：一画面に一枚の写真が表示されます。
「方向ボタン」で選択した後、「決定ボタン」を押すと設定が切り替わります。

［補足］画面分割をオンにしてスライドショーを再生している時に「決定ボタン」を押してスライドショーを一旦停止させると一画面表示に切り替わります。

［音声再生モード］

音楽再生時の繰り返し設定を行います。セットアップ画面から「音声再生モード」を選択後、「決定ボタン」を押すと設定画面が表示されます。（一曲繰り返し／全曲繰り返し／繰り返さない／一曲のみ再生）から「方向ボタン」で選択後「決定ボタン」で確定します。

［アラームとして再生］

指定した音楽ファイルをアラーム音に使用することができます。音楽一覧画面内で使用したいファイルを「方向ボタン」で選択してください。選択後にセットアップ画面から「アラームとして再生」を選択して、「決定ボタンを押すと設定画面が表示されます。「方向ボタン」で「オン」を選択後、「決定ボタン」で確定すると指定したファイルがアラーム音として登録されます。

［スライドショー開始］

写真と音楽を同時再生するスライドショー再生を行います。セットアップ画面から「スライドショー開始」を選択後、「決定ボタン」を押すとスライドショーが始まります。

［回転］

写真再生中にセットアップ画面から「回転」を選択後、「決定ボタン」を押すと再生中の画像が右回りに 90°回転します。続けて「決定ボタン」を押す毎に右回りに 90°づつ回転します。操作完了後、「戻るボタン」を押して元の画面に戻ります。通常はリモコンの「上下方向ボタン」で操作してください。

［メモリ消去］

内蔵メモリのデータを消去します。セットアップ画面から「メモリ消去」を選択後、「決定ボタン」を押すと確認画面が表示されます。「はい」を選んで「決定ボタン」を押すと内蔵メモリのデータが消去されます。

［設定の初期化］

設定項目を出荷時の状態に戻します。セットアップ画面から「設定の初期化」を選択後、「決定ボタン」を押すと確認画面が表示されます。「はい」を選んで「決定ボタン」を押すとセットアップ画面の各種設定が出荷時の状態に戻ります。

［言語］

セットアップ画面で使用する言語を設定します。セットアップ画面より「言語」を選択後、「決定ボタン」を押すと言語選択画面が表示されます。「日本語（JAPANESE）／英語（ENGLISH）」から言語を選択後、「決定ボタン」を押すと表示が切り替わります。

［補足］本書はここで日本語が選択されている状態を想定して作られています。英語版の説明書の用意はありません。

［アラーム］

アラームを設定します。セットアップ画面から「アラーム」を選択後「決定ボタン」を押すとアラーム設定画面が表示されます。

（画面内操作）

- 上下方向ボタン：項目（行）の選択
- 決定ボタン：選択した項目（行）を入力可能な状態にする
- 左右方向ボタン：入力可能な状態の項目の数値指定及び設定切り替え

（画面内項目の説明）

- アラーム No.：登録 No. を指定します。
- 時：時間指定　　・分：分指定
- アラーム：アラーム頻度の設定
  一度／毎日／ユーザー定義（曜日指定）
- ステータス：オン（有効）／オフ（無効）

［補足］最下段の項目「ステータス」がオフになっているとアラームが作動しません。

［日付／時刻］

現在日時の設定を行います。セットアップ画面から「日付／時刻」を選択後に「決定ボタン」を押すと現在日時の設定画面が表示されます。

（画面内操作）

- 上下方向ボタン：項目（行）の選択
- 決定ボタン：選択した項目（行）を入力可能な状態にする
- 左右方向ボタン：入力可能状態の項目の数値指定及び設定切り替え

（画面内項目の説明）

- 年／月／日／時／分／秒：現在日時の入力。
- 日付／時刻の保存：日時を確定します。

［補足］時計は 24 時間制です。「日付／日時の保存」で「決定ボタン」を押すと時刻設定が保存されます。

［ビデオサイズ］

映像データの画面出力サイズを切り替えます。特に解像度の低いデータを再生する時に使用します。

- オリジナル：オリジナルデータサイズで再生します。
- 画面にフィット：小さいサイズの映像を画面一杯に引き延ばします。

8. 故障かな？　と思ったら

正常に動作しない場合はこちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因とその解決方法を確認することができます。巻頭に記載の注意書き、及び本項をお読みになっても問題が解決されない場合は保証書の内容をご確認の上で、弊社までご連絡ください。

機能全般

本体が起動しない

・本体の主電源スイッチをオンにし、リモコンの電源ボタンを押して、液晶画面の反応を確認してください。電源ランプが点灯していなければ電源ケーブルの配線を確認してください。
・バッテリー駆動の場合は電池残量が不足していることが考えられます。本書の充電に関するページをご確認ください。

液晶に点が表示される

・ディスプレイは高度な技術で製造されていますが、常時点灯もしくは消灯するドットが存在することがあります。これらは故障ではありません。
・液晶保護フィルムに文字が印刷されているので、はがしてお使いください。

リモコンが効かない

・プレーヤー本体の電源スイッチはオンになっていますか？
・電池が裏返しにセットされていませんか？
・ご購入頂いた時点では電池トレイの底面に透明の絶縁フィルムが挟み込まれています。挟まったままの場合は取り外してください。また、付属のリモコン用電池は動作確認用です。このためすぐにバッテリー切れになる場合がありますので、通常ご使用になる分は別途ご用意ください。使用する電池はボタン型リチウム電池（CR2025）です。
・リモコン操作は本体のリモコン受光部（正面中央下付近）に向けて行ってください。本体とリモコンの距離が離れている、もしくは間に障害物がある場合はリモコン操作が効きません。

音量調節ができない

・プレーヤー本体の左右ボタンを長く押すと音量の調節が出来ます。

映像は出るが音声が出ない

・イヤホンを接続していませんか？
・音量が 0 になっているか、消音ボタンが押されていませんか？

表示が外国語になっている

・セットアップもしくはメニュー画面内で表示言語の切り替えが可能です。

テレビ視聴時

音声や映像が途切れる

- 周囲に建物がある等で電波受信状況が悪いとこのような状態になります。受信が不安定な場合は、受信しやすい場所に移動するかアンテナの位置や向きを調節してください。

音声も映像も出ない

- 本体機能を TV に切り替えて「オートサーチは行いましたか？
- 受信中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。
- 電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナの窓際の受信しやすい場所に設置してください。付属アンテナは携帯性を重視した設計になっております。もしもご家庭内にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合はそちらに接続してお試しください（先端が F 型端子のアンテナケーブルが別途必要です）。

ボタン操作が効かない

- 電源をオンにした直後、機能モード切り替え後、チャンネルの切り替え直後、および電波状態の悪い場所での視聴中は本体で重い処理を行っているため、反応や動作に時間がかかることがあります。この状態で繰り返しボタンを操作すると後で全ての操作が反映されて思わぬ動作を起こすことがあります。全ての操作は反応を確認しながら行なってください。

番組を受信できない

- お住まいの地域でワンセグ放送が開始されているかをご確認ください。
- アンテナの位置が受信しやすい場所に設置されているかをご確認ください。
- オートサーチは完了しましたか？　また、オートサーチを行った地域から移動した場合、チャンネル編成が地域により異なるため、再度オートサーチが必要です。
- 1 局で 2 番組分の放送を行うワンセグ 2 サービスが一部の放送局で提供されていますが、本製品では未対応（主チャンネルのみ）です。

チャンネルと番組が一致しない

- オートサーチを行った地域から移動していませんか？　チャンネル編成は地域ごとに異なるため、地域が変わったら再度オートサーチを行ってください。

希望のチャンネルに合わせられない

- 「オートサーチ」の方法は正しいですか？
- 受信状況が悪い場合は希望のチャンネルを受信できない場合があります。次ページの「ワンセグ放送の受信について」をご確認ください。

チャンネルの切り替えが遅い

- ワンセグを含むデジタル放送は受け取ったデジタル信号を音声や映像に展開するため、若干時間がかかります。

・受信状態が悪い場合は更に時間がかかります。室内であれば窓際等に本体もしくはアンテナを移動してください。

画面下部が黒い

・リモコンの画面比率を押して表示領域が画面全体になるよう変更してください。

［ワンセグ放送の受信について］
現在、全国の主要な地域ではデジタル放送が開始されていますが、地域の状況により放送エリア内であっても受信できない場合があります。

・お使いの地域の周辺に高層ビルや山等があり、放送局からの電波を遮断している。
・住宅密集地域や集合住宅で電波状況が芳しくない。
・高圧送電線による電波障害の影響がでている。
・電波中継局の設置などのインフラ整備が整っていない。

また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。特に携帯電話は、屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、チューナーにブースターを搭載するなど設計・受信方式が根本的に違います。携帯電話でワンセグ放送が受信できても、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

［ワンセグ放送エリアに関する、インターネット上の参考 URL］
・社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/
・総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/datashu/datashu_05.html

［アンテナ配線の見直し］
ご家庭にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合には、付属のアンテナ変換アダプタを介してそちらに接続してください。

デジタルフォトフレーム使用時

設定の初期化

設定を見直したい時は一度初期化して、お買い上げ頂いた状態に戻すことで改善される場合があります。セットアップボタンを押して表示される、セットアップ画面内「設定の初期化」を実行してください。

時計がずれる

時計は 24 時間制で設定してください。設定後はズレがないかを定期的に見直し、調整をするようにしてください。

アラームが正しく動作しない

- お買い上げ後、現在日時の設定はお済みですか？　未設定では全ての時計、及びカレンダー機能が正しく動作しません。セットアップ画面→「日付／時刻」から設定してください。
- セットアップ画面→「アラーム」から進んだアラーム設定画面内、最下段「ステータス」がオフになっているとアラームは鳴りません。オンにすると有効になります。
- 時刻及びアラーム時刻は 24 時間制の表示です。設定の際にはご注意ください。
- アラーム機能は電源がオンになっていて、なおかつ DPF モードの時に動作します。
- 本体の時計がずれていると、時刻と連動した機能が正しく動作しません。本体時計はアラームやカレンダー機能を使用する前に設定してください。また、時計にズレがないか定期的に補正してお使いください。

起動時の再生ファイル優先順位

起動時に挿入メディアの中に写真と映像ファイルが混在している場合は、映像ファイルが優先して再生されます。起動時に写真スライドショー再生をしたい場合は挿入メディアに映像ファイルを入れずに、写真ファイルだけを入れてください。

内蔵メモリへの保存に関する補足

本体への写真保存方法は下記仕様になっています。

- 写真データだけが保存可能です。音楽・映像データは保存できません。
- 保存時は画面表示がそのまま 720 × 480pixel の画像にリサイズされて保存されます。元のデータサイズをそのまま保存することはできません。
- 保存可能な枚数は元データにもよりますが約 5 〜 15 枚です。

――――――――――――――――――――

保存後の写真データに関して

- 内蔵メモリに保存したデータはセットアップ項目「画像サイズ」の操作による画面表示比率の切り替えはできません。
- 内蔵メモリに保存したデータを挿入メディアに直接書き出すことはできません。必ずバックアップを残しておくようにしてください。

音楽再生中に早送りができない

音声ファイル再生中は早送り／巻き戻し操作ができません。

起動時の再生メディア優先順位

起動時に写真や映像ファイルを認識すると自動的に写真スライドショー、もしくは映像再生が始まります。この時、メディアが挿入されていれば挿入メディアのデータが、メディア未挿入であれば内蔵メモリのデータが読み込まれます。

映像再生中のリピート機能

映像ファイルは再生を始めると、認識した全映像の繰り返し再生が行われます。繰り返し（リピート）動作を切り替える設定はありません。もしも 1 ファイルだけを繰り返し再生させたい場合は挿入メディアに映像ファイルを 1 つだけ入れてお使いください。

補足

内蔵バッテリー

製品仕様として記載してあるバッテリー駆動時間は、あくまでも目安です。実際の使用状況（使用年数や操作頻度、周辺温度や環境等）によって駆動時間に差があります。未使用時は側面の電源スイッチをオフにしてください。充電後に電源スイッチをオンにしたままですとバッテリーの放電が早まります。また、バッテリーは消耗品です。使用を重ねる毎に劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

ワンセグ独自の放送内容

時間帯により、ワンセグ独自の放送が行われている場合があります。この時、アナログ放送や地上デジタル放送用の番組はご覧になれません。

ボタン操作に関して

一部の操作は本体上部ボタンでも可能ですが、本機の全ての操作を行なうことはできません。通常はリモコンで操作をしてください。

製品仕様

製品名	8 インチ液晶ワンセグテレビ + デジタルフォトフレーム
型番	DS-ITV800BK/SV
本体カラー	BK：ブラック、SV：シルバー
本体サイズ	260 × 155 × 31mm（横幅×高さ×厚さ） （スタンド取付時の高さ：200 ～ 230（可動式）× 奥行：110 mm)、 約 600g（スタンド取付時／ 700g）
電源	AC100V-240V、50 / 60Hz、電源アダプタ：12V 2A
消費電力	10W ／待機時：1W
内蔵バッテリー	電圧：7.4V、容量：2,000mAh 充電時間：約 180 分、駆動時間：約 120 分
液晶パネル	サイズ：8 インチ、800 × 480pixels、表示色数 =1,677 万色、バックライト寿命≦ 20,000 時間、画面輝度 =250cd/m^2、コントラスト比 =250：1 視野角 = 上下：110°／左右：90°
チューナー	ISDB-T 1Segment ／ UHF13 ～ 62ch（アナログ放送の受信はできません）
スピーカー	最大出力：2W × 2
再生ファイル	写真：.jpg ／音声ファイル：.mp3 ／映像ファイル：.avi ／ .mpg ／ .mp4 （映像コーデック mpeg1,2,4、音声コーデック mp2,3）
本体メモリ	写真保存枚数：5~15 枚前後
入出力端子	SD/MMC スロット、USB、AV 入力、VGA 入力、イヤホン出力 (3.5mm) アンテナ入力、電源入力
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

製品の仕様は予告無く変更することがあります。また、上記仕様表記と合わせて本書中に記載の注意や解説をお読み頂き、用法を守って正しくお使いください。

お問い合わせ

製造元：株式会社ゾックス

〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　TK 関内プラザ 304

電話：0120 - 602 - 302　　ホームページ：http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。